

ごめん (2002)

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ ロマンズ

製作国 日本

色彩 Color

時間 103分

初公開日 2002/10/12

公開情報 オフィス・シロウズ=メディアボックス

【キャッチコピー】

男のイタミは、大人のシルシ

【解説】

故・相米慎二監督作品で助監督を務め、前作「非・バランス」では、少女の一夏の揺れる心情を描いた富樫森監督。本作では体だけ先に大人になったような、なんとなく気恥ずかしさを引きずった思春期の少年の淡い恋心をコミカルに、そして暖かな眼差しで描く。原作は「お引越し」の、ひこ・田中。主演の子役たちをベテラン俳優陣が脇でサポート。

セイこと七尾聖市は大阪郊外に住む小学校6年生。ある日、授業中にセイは後ろの席のキンタに突然カンチョーされて思わずチビってしまった。慌ててトイレに駆け込み確かめると、なんか変。白くてべつとりしているのだ。“これ、オシッコとちゃうん！”。クラスのみんなより一足先にオトコになったセイは、以来、身体の変調に戸惑うばかり。ある日、セイは京都の祖父母の家に遊びに行った。そしてお使いに出た漬物屋で、ナオちゃんと呼ばれる少女に出会い一目惚れする。セイは友達にゲキを飛ばされ、再びナオちゃんに会いに京都へ行くのだが…。

【クレジット】

監督	富樫森	
製作	岡俊太郎	
	川城和実	
	関原二郎	
	竹中功	
	佐々木史朗	
プロデューサー	藤門浩之	
	吉田晴彦	
	久保田傑	
原作	ひこ・田中	(『ごめん』偕成社刊)
脚本	山田耕大	
撮影	上野彰吾	
美術	三浦伸一	
編集	川島章正	
音楽	大友良英	
照明	上妻敏厚	
録音	深田晃	
助監督	谷口正晃	
出演	久野雅弘	セイ
	櫻谷由貴花	ナオ

佐藤翔一	キンタ
栗原卓也	ニャンコ
國村隼	セイの父
河合美智子	セイの母
森毅	セイの祖父
伊吹友木子	セイの祖母
斎藤歩	ナオコの父
三田篤子	ナオコの母
小牧芽美	倉田先生